

<b>学校名</b>	春日部市立春日部中学校
<b>所在地</b>	春日部市粕壁4丁目4番15号
<b>電話</b>	048-761-2253

## 1 本校の概要

本校では、「可能性に生きる 豊かな知性 あふれる情熱 熱い友情」を学校教育目標とし、「学校・家庭・地域の絆を深め、豊かな学びで未来を拓く、信頼と活力のみなぎる学校」を目指す学校像としている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・家庭や地域との連携
- ・言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

### (2) 実践の概要

本校では、平成29年度より市の司書職員による訪問支援が実施されており、毎週火曜日の午後に図書の整備等を進めている。また、令和元年度よりスクールサポートスタッフが配置され、昼休みの図書室開放時に図書委員の支援などを司書教諭とともに行っている。このように本校では、地域の方とともに図書館運営を行っている。

#### ア 図書委員による「おすすめの本」ポップ作り

図書委員会では、これまで昼休みの図書の貸し出し・返却、学級文庫の管理を中心に活動を行ってきたが、今年度は「おすすめの本」をポップで紹介する取組を行った。

できあがったポップは、本校の図書室ではなく、春日部市立中央図書館に令和3年2月1日～8月31日まで展示されることになっている。

この取組は、春日部市子ども読書活動推進計画に基づいて社会教育課より作成の募集があり、本校で取り組むこととなったものである。

自分の作成したポップが学校図書室ではなく、市立図書館に展示されるということで、生徒たちの中で相手意識と目的意識がはっきりとし、目的をもって活動に取り組んでいた。また、市の司書職員にポップの見本を作ってもらったことで、それを参考にしながら作成を行う生徒も見られた。生徒たちの作品は図書だよりも掲載し、全校生徒にも見てもらう予定である。春日

部市立中央図書館へ足を運んで実物を見てもらえるようにしたい。



【生徒が作成したポップ】

### イ 授業における図書室の活用

今年度は、言語活動の充実を図るために、授業において例年よりも図書室を多く利用した。

「絶滅危惧種」を調べるという活動においては、本校の蔵書だけでは限界があることから、市の司書職員に相談したところ、春日部市立中央図書館の団体貸し出しの利用を勧められ、実際に55冊の本を1か月間借りることができた。

また、調べ学習以外にも、古典や朗読の授業において図書室を利用して学習を進めてきた。今年度は、コロナ禍のため、教室では取り組むことが難しいと思われる活動も、広い図書室を活用することで、可能になった取組もあった。



【図書室を利用した学習の様子】

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

学校図書館と地域の図書館が市の司書職員を通してつながりをもてたことによって、委員会活動や授業において充実した活動を行うことができた。

### (2) 課題

今年度の取組が1度で終わらないように、今後も地域の図書館と連携して取り組めるような活動を考えていかなければならない。

また、学校図書館の蔵書を見直し、調べ学習に必要な書籍を選定し、購入していく必要がある。今後導入される予定であるタブレットとの併用も考えていかなければならない。